

ANJIN

vol.33

2024 New Year

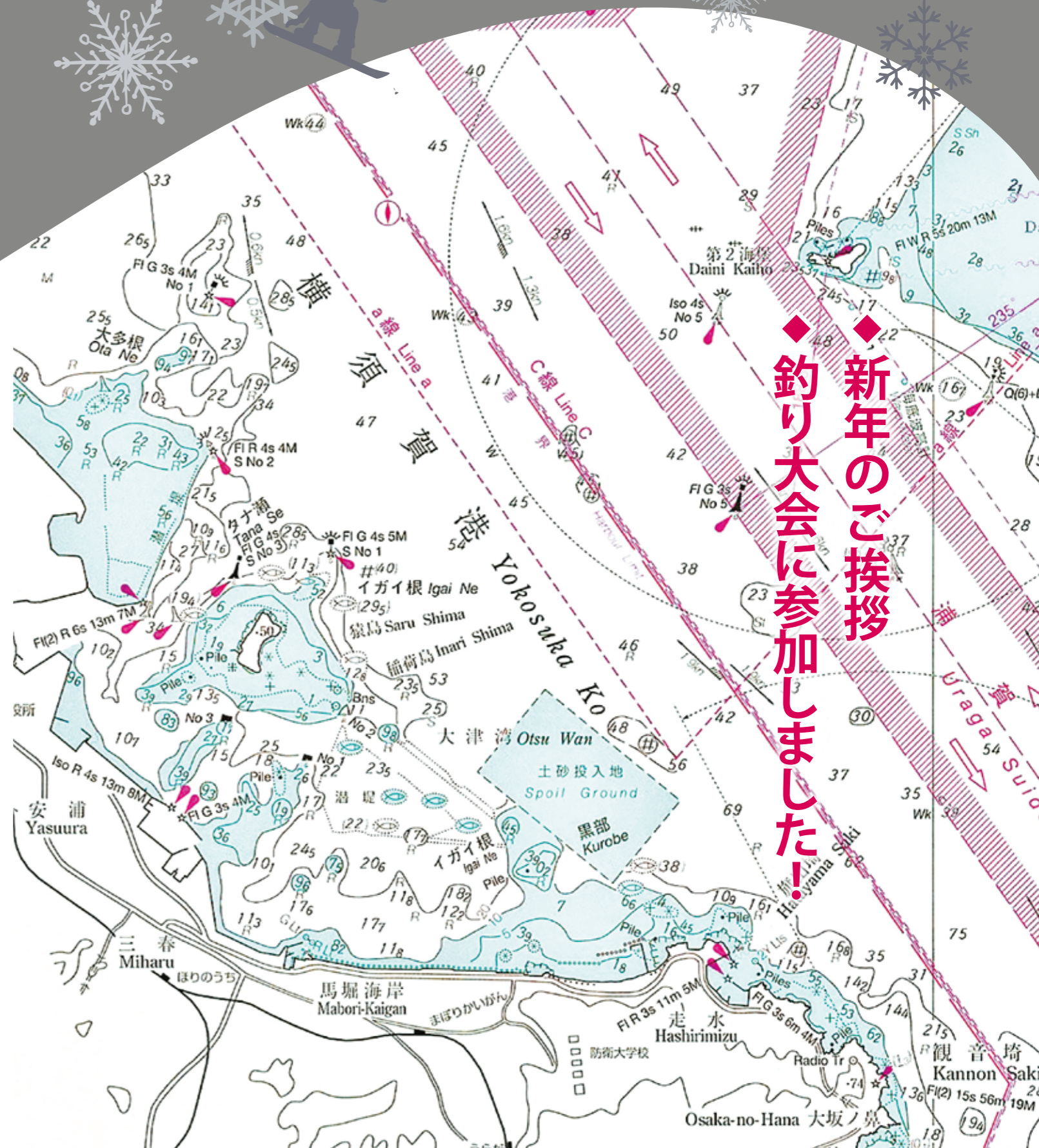
季刊



<http://www.tokyobay-pilot.jp/>

ANJIN 第33号 2024年1月1日発行
発行所/東京湾水先区水先人会
編集・発行/広報チーム
〒231-0023 横浜市中区山下町1番2
パイロットビル
TEL 045-650-3180

記載内容に係わる個人情報や会報内容について、当会に無断での転載・転用を禁止する。



◆新年のご挨拶
◆釣り大会に参加しました!

目次 Contents

Vol.33 ~ 2024 New Year ~

新年のご挨拶	3
海中転落者救助訓練	4-5
OB だより	6
陸上勤務研修レポート／ Topics	7
釣り大会に参加しました！	8-9
私のキャリア	9
マイグッジョブ	10
旬のたより	11
海洋総合研究所に行ってきました！	12-13
食いしん坊のハマ飯 vol.2	14
人事短信／ Topics	15

表紙／海図コピー（海上保安庁・海図 W1062「東京湾中部」から転載）

ANJIN【あん-じん・按針】とは？

磁石によって船の航路を決めること。また、その人。水先案内。按針手。

《補説》水先案内の意の「あんじ(行師)」の変化したものか。

(「デジタル大辞泉」から転載)

新年にあたって

会長 足立 和也
(あだち かずや)

水先人会の皆さん、
明けましておめでとうございます。
2024年の年頭にあたり、
一言ご挨拶いたします。

新謹
年賀



いつも申し上げていることですが、20代から70代までの年齢層で成り立つ当会の皆さんは様々な価値観や家庭環境の中で働いています。そのような状況の中で自分達で東京湾水先区をより働きやすい環境にするため、どうしたら良いか日々の業務の中で考え発信していただき、それらを皆さんと共に考え議論し働きやすい水先人会にしていきたいと考えています。

しかし、これは正に「言うは易く行うは難し」で一朝一夕には成し遂げられません。でも、出来る所から一つ一つ考えていき、少しずつでも前に進んでいきたいと思っています。皆さんの更なるご意見の発信と議論への参加をお願いします。

一方、我々の水先業務は水先する船舶だけでなく関連する船社(代理店)、バース関係者(ターミナル、荷役業者等)、荷主関係者に対して安全で安心できる水先業務を提供する事ではないかと思えます。単なる入出港作業だけではなく、多くの関係者に影響を与えている公共事業的な側面を併せ持っている事を忘れてはならないと思えます。

そのためにはもちろん日々水先技術を研鑽され安全運航をする事が第一ですが、関係者の皆さんに信頼される様な品位ある態度で接することも大切だと思えます。

ところで残念ながら、我々の仕事は港湾関係に従事されている方々以外にはあまり知られていません。昨年、メディアの取材にはできる限り対応して水先の仕事を少しでも理解していただけるように努力しています。今後も皆さんにご協力をお願いすることがありましたらよろしくお願いします。

今年の干支は辰です。

正確には干支は「十干」(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)と「十二支」(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)を組み合わせたもので、今年は【甲辰】になります。

甲は草木などが成長していく様を表すとされ、辰は草木の形が整った様子とされています。これらから甲辰の年は成功という芽が成長していき、姿を整えていく年と言われています。

閑話休題

異常気象や紛争、感染症と明るい話題が少ない昨今ですが、皆さんで『東京湾水先丸』をしっかりと水先して良い甲辰の年にしましょう。



海中転落者救助訓練

二級水先人 杉山 幸生
(すぎやま ゆきお)

二級水先人 上沼 尚大
(かみぬま なおひろ)

読者の皆様のほとんどが水に飛び込んだことがあると思います。しかし、自分からではなく、服を着たまま不意に波打つ海中に落ちるとどうなるでしょうか。また、そのように転落した人に気付いたとしたらどのように考え行動できるでしょうか。何事もまず実際に経験すれば心構えが変わると思いますし、また、定期的に訓練することにより何を考えどうすべきかブラッシュアップされるものだと思います。

水先人会では9月4日、安全運航強調月間に合わせて海中転落者救助訓練を実施しました。この記事がもしもの際の一助になれば幸いです。

訓練の概要

当日の風は弱く、時折雨が降る中での緊張感ある訓練となった。今回はボートの大きさや推進機器の異なる「水先艇 按針 101・高速艇コンドル・タグボート足柄丸」の3隻の協力のもと行われた。それら各々のボートから柴田水先人、渡部水先人、辻村水先人が順に飛び降り、それぞれに異なる条件(救命胴衣・パイロットコート、救命設備の違いなど)の中で落水者の救助を行った。訓練は滞りなく行われ、訓練終了後の報告会では関係者間での情報共有や今後の課題などが話し合われた。

落水者からの感想

柴田水先人

- ・落水時に救命胴衣がすぐ膨らまず、数秒後に手で紐を引いて膨らませました。瞬間の出来事でしたが正直恐怖を感じました。万が一のためにも、落水時は「自ら膨らませるんだ」という手順を常に頭に置くこととしました。また、落水後は慌てて泳いで救助船へ向かってしまいそうですが、基本は呼吸を保ってあまり運動せずに体力温存して浮き、ライトや笛などで見つてもらえるよう工夫して救助を待つとの事で、良い体験となりました。
- ・海から揚収装置のプレートに上がる際、プレートの高さが海面に近いと上がるのに体力がいるなど感じました。

辻村水先人

- ・タグからの落水は高いとわかっていたものの、瞬間ではありますが落下時間が長く感じ、また、だいたぐ下に沈んでしまい手を使って浮き上がるまでが怖かったです。タグに引き寄せられるときも、タグが非常に大きく見えて怖かったです。もし巨大船がすぐ近くだったとしたら相当恐ろしく感じて慌ててしまうと思います。
- ・パイロットコートの浮力は頼もしいものだと体感でき参考になりました。

救命浮環につかまる柴田水先人



タグからの落水(パイロットコート着用)



救命胴衣について

救命胴衣の自動膨張機構は和紙等できている。同機構が落水したのち作動するまでに時間を要する場合がある。特に、低い位置から落水した場合や、体の沈みこみが浅い場合には和紙等が十分に湿潤しない為に膨張機構が破断せず、自動で膨らまない場合があるので注意を要する。したがって、落水しても自動で救命胴衣が膨張しない場合や不安を感じた場合等は、手動膨張索を直ちに引いて、手動で膨張させるとよい。

高速艇コンドル(井上慎治船長)にインタビューしました!



Q. 救助訓練の感想を聞かせて下さい。

Ans. 過去の訓練を思い出しながやり、幸い風が弱かったためうまく落水者の近くにレスキューリングを投げることができました。もし雨風がもっと強かったら落水者の近くにうまく投げ送るのは難しかったと思います。

Q. 普段、水先人の乗下船の際にはどのような所に注意していますか。

Ans. 風や波の状態をよく観察し、タイミングを計って本船に押し付けています。水先人のほか、ラダーを押さえる乗組員の安全やラダーの状態にも配慮しますがそのあたりは特にその乗組員に任せて、まずはいかに本船にボートをしっかり押し付けた状態を保つかに集中して操船しています。必要あるときは拡声器で声掛けしますが、操船もあるので本当に瞬間の勝負でいっぱいなのときもあります。

Q. 水先人に気をつけてほしいこと等あれば教えてください。

Ans. 錨地下船の際、リーサイド(風下側)をつくり、かつ早めに取り付けていただけたらと思います。両舷ラダー用意のときであっても、投錨後の時間経過で本船が風に立ち両舷側共に強い波風が入って、結局下船を断念したケースもありますので、やはり最終的にリーサイドを用意していただくということが特に大きいことだと思います。錨の効きの確認等やるべき水先人の仕事があると思いますので簡単なことではないとは思いますが、安全のためにできる限り努力していただけたらと思います。

Q. 普段の業務で、助かっていることがあれば教えてください。

Ans. 乗下船時にタグボートが足場をつくってくれるときがありますが、安全を考慮していただけてありがたいことだと思います。また、乗下船時に近くをボートが通ると引き波ができ、それで上下に揺れて乗下船に危険が伴うときがあるのですが、それを配慮してかわざわざ遠回りしてくれるボートが時々あります。水先人の安全につながると思いますのでありがたいことだと思います。

最後に

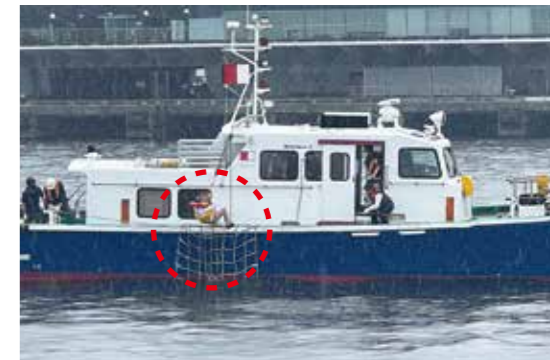
円滑な水先サービスの提供のため、パイロットボートはその技術を尽くして私たち水先人の乗下船作業に従事しています。しかし、年々強まる台風や突如吹き始める強風など、乗下船は危険と常に隣り合わせです。最後に私が先輩水先人から教わった言葉をご紹介しますとともに、会員の皆様の安全をお祈りいたします。

「乗下船に危険を感じたならば決して無理をしてはいけません。先輩が先に降りて待っていたとしても、遠慮することなく本船に留まる決断をすればよい。それが最大の安全対策なのだから…」

▼ 按針 101 の揚収装置につかまる柴田水先人



▼ コンドルの揚収装置につかまる渡部水先人



▼ タグの揚収装置につかまる辻村水先人



パイロットラダーとは

一般的な縄梯子とは異なり、反転防止やスリップ防止等の対策が施され、材質のほか登るラダーの長さについての対応ルール(乾舷9mが目安)がある等運用方法もSOLAS条約・IMOの勧告にて規定されている安全を考慮した特別な梯子となっている。

乗船中。これだけの高さがあります! ▼



OBだより

Profile
 ・1946年長崎県生まれ
 ・水先人歴12年
 ・2020年5月退会



東京湾水先区水先人会
元一級水先人
杉森 四郎
(すぎもり しろう)

喜寿を迎えて

昨年喜寿を迎えたから退会してから3年経過したことになる。本当に時の流れは速いものである。これは私の実感だが、何もしていない同年配の人と話しても、決して「一日が長い」とか「時の流れは遅い」などと聞いたことがないから、ある年になると「多忙」「閑」に関係なくそのように感じるようである。



▲ 検船中の様子

SIREの検査員になりました

退会したら野菜や果樹を作って晴耕雨読と考えていたが、一年程たった頃、SIRE (Ship Inspection Report Programme) のInspectorにどうかと誘われ検査員になった。危険物船の安全検査をしてその結果をロンドンの本部に報告する、船にとっては仕事に直結する重要な検査である。北海道から九州まで範囲が結構広い。その検船の仕事の合間に畑仕事をしている(畑仕事の合間に検査なんて言うてはならない)。

昨年の夏は猛暑で井戸が干上がるほどの少雨だった。朝4時に起きて空の白む頃から、朝の連ドラが始まるまで草をとったり木の手入れをしたりして、昼は冷暗所でげんざりしているが、それでもご近所さんが寝ているときに耕運機を動かすわけにもいかないから、日中の曇り空を選んで耕したりしている。収穫した野菜や果物は近くのスーパーに卸している。そのメカニズムはこうである。仮にきゅうりとすると、旬の味を楽しむには2本も作れば十分な量であるが、スペースがあって、ついでに10本栽培したら、8本分の余剰収穫物が発生する。まず、自分が食べてこれなら皆さんに提供してもよいと思うものを出す。いわばおすそ分けのつもりである。大消費地近郊の私のような規模と考えの人たちは結構いて、店頭をにぎわしている。中にはボランティアで必要な人のために無償で提供している方もいるが、わたし的には労働分は良いとしても、せめてタネ代と肥料代は頂きたいと思っている次第である。

タンカーの安全監督に

さらに昨年の4月からタンカーの安全監督の仕事にも加えてもらった。これは危険物船の荷役作業を監督する仕事で、結構需要が多い。我が国は今、世界に類のない少子高齢化に突入し、労働人口(15～65歳)が減少している。結果、労働市場は変化し、シルバー人材センター等が結構活躍している。我々の55歳肩たたき時代からすると隔世の感がある。

そんなわけで、3つの仕事をしているが、時間的に縛られるものはない。電話、E-MAILでオファーがあり、都合がつけば引き受ければよい。検船や監督で訪船して、年齢からすると子供のような船長さんや、孫のような航海士達と過ぎし船員時代を思い出しながら一緒に仕事をしていると、時の経つのを忘れる。それにつけても考えることは高齢化である。陸上では特に運転手さんとか現場作業員が足りないらしい。検船で行く内航船では極端な人手不足で、労務倒産している会社もあるという。当面、80歳くらいまでの人間や有閑夫人にお願いしてお茶を濁したとしても間に合わない。GDP維持のため人口減少分を外国人の手に頼るのか、それともサイズに合わせて規模を縮小するのか。検船員、安全監督など些末な分野ではあるが、事程左様に後継者不足が心配される。これらの仕事は船員経験が基になる。そもそも日本人船員が減少の一途であるから当然の帰結といえどもそれまでだが、何とかできないものかと憂慮している。



畑やっています! ▼

陸上勤務 研修レポート

二級水先人 **池田 匡孝**
(いけだ まさたか)

2023年5月、当会において初となる二級水先人 陸上勤務研修が行われました。入会8年目で進級二級水先人の赤塚・青木・上沼および、入会5年目で新規二級水先人の池田が当研修を受講しましたので報告させていただきます。

この研修は「二級水先人として一定程度水先業務に習熟し、一級水先人への進級を控える者に対し、当会の水先業務受付から配乗、料金収受に至る過程を中心とした水先業務支援体制を体験させることにより、俯瞰的に水先業務の全貌を把握し今後の水先業務向上に資すること」を目的に行われました。

研修日数は7日間に渡り、業務部料金収受グループ・受付業務の見学や、オペレーション部での見学・実習(宿直含む)などを行いました。研修の大半はオペレーション部での見学・実習で、業務に支障のない範囲で、過去の事例などを基にオペレーション部が日々行っている業務について説明を受けたり、普段疑問に思っていることを質問したりしました。



▲ 水先人からの電話に対応する上沼水先人



研修の様子▲

研修を受けた4名の感想 /

オペレーション部の当直体制をはじめ、当会事務局の各部署の実務内容を知ることができ、大変有意義だった。

オペレーション業務の1日の流れ、実務としての配乗手順を知ることができ、今まで何気なく確認していた作業メールをいただくまでの背景を知るいい機会となった。また、電話やメールで連絡する対応オペレーターの顔が浮かぶようになった。

バス毎の特性を全員が把握しており、水先要請の内容に不備がないかを確認していた。また、荷役遅れやその他トラブル等不測の事態に対し、臨機応変に対応していた。水先要請を滞りなく捌くために、オペレーション部の迅速かつ柔軟な対応力は必須だと感じた。

代理店・東洋信号所等との連絡など、普段水先人の目に見えない部分の業務を間近で見学することができた。

時間帯や状況により違いはあるものの、電話対応の件数・時間が多かった。特に悪天候時やトラブル発生時には電話連絡が多くなるなどの変化があり、どのような時にオペレーション部の業務負荷が高いか知ることができた。

まとめ /

私たち水先人が普段何気なく作業をしているその裏には、たくさんの方々の支えや苦労があるということを、この研修を通して強く認識することができました。今後も東京湾水先人会というチームの一員として、サービス向上のために貢献したいと思えます。

三柳海上保安部長



大盛況となった会場

Topics

横須賀海上保安部長が講演会を行いました

安全運航強調月間の恒例行事として、航行安全に関する講演会が開かれました。今年は横須賀海上保安部長、三柳祐二氏が講演を行い、横須賀海上保安部の業務紹介や海難防止活動の例について発表されました。会場には多くの関係者が詰めかけ、興味深く講演に耳を傾けていました。横須賀海上保安部交通課課長、島袋健氏からは、台風襲来時における湾外退避等について、昨年の台風を例に解説していただきました。



釣りの大会に参加しました!

二級水先人 松家 辰徳
(まついえ たつのり)



▲ 巨大タチウオを釣り上げた野宮水先人

▲ タンカーを背に

2023年9月23日、「遊漁船の運行状況体験による相互理解の促進」に関する釣り大会が4年ぶりに開催されました。遊漁船で釣りを楽しみつつその実態を知り、遊漁船の方々と交流を深めることでより安全な水先サービスの提供につなげることが目的となっています。参加者は水先人8名、東京汽船㈱から2名、当会事務局2名の計12名となりました。また、今回の釣り大会の対象魚はタチウオとアジで、リレー釣りにて魚を狙いました。今回の釣り大会の様子を報告します。



▲ 今回の釣り参加者

朝6時45分、久里浜の船宿『平作丸』に集合。降水が予想されていたためカッパとライフジャケットを着用し、7時15分に久里浜港を出港しました。まずはタチウオを狙いに猿島の南側へ向かいました。多くの遊漁船が10~20メートル間隔でひしめき合う様子には驚きました。遊漁船船長が指示する水深まで錘の付いた仕掛けを垂らして、その水深付近で仕掛けを巻いたり降ろしたりして魚を誘います。3時間ほどタチウオ釣りを楽しんだ後、次のアジ釣りの漁場へ移動しました。移動中、用意してくださったお弁当をいただきました。

アジ釣りは浦賀水道航路 西側海域の航路近くで行いました。アジは海底付近に生息する魚なので海底に仕掛けを完全に落とし、少し巻き上げて

海底上3メートル付近をサビキ(餌を撒くことで魚をおびき寄せる釣り方)で狙います。アジはタチウオよりも釣り易く、仕掛けを落として少し巻き上げただけで釣ることができました。ただ、アジ釣りでは周りの釣り人と仕掛けが絡まる事(「おまつり」と言う)があるので、遊漁船の船長はエンジンとバウスラスター^{※2}を使って仕掛けが流れないように気を遣って操船していました。

航路近くでは大型船が航行するところを間近に見ることができました。巨大船のタンカー等には警戒船がついており、警戒船が拡声器で注意を促す様子も見ることができました。大型船が通過した後は発生した航走波が遊漁船を襲い、時折身の危険を感じるような大きな揺れもありました。14時ごろ、参加者全員がクーラーボックスを魚でいっぱいにして久里浜港に帰港しました。

解散後、若手水先人数名で大谷水先人宅に集い、インターネット上にある魚の捌き方動画を参考に魚を捌きました。やはり自分で釣り捌いた魚をいただくのは格別で、非常に良い体験となりました。



◀ クーラーボックス一杯の魚

仲良くクッキング ▼



◀ 魚をつまみに一杯! お疲れ様でした



今回の釣り大会を通じ、遊漁船目線で東京湾の状況を見ることで東京湾は日本有数の漁場であると共に海上物流の要であり、漁船と商船の共存共栄の大切さを改めて感じることができました。また、遊漁船の船長と乗組員さん、ベテランの釣り参加者の方々からの協力もありたくさんの魚を釣ることができました。みなさんどうもありがとうございました。

※1 …リレー釣り: 1回の釣行で時間帯を区切って2種以上の対象魚種を狙う釣りのこと。

※2 …バウスラスター: 船のバウ(船首)にある、船首尾に対する横方向の推進力を得るための動力装置。

航行安全のためのワンポイント

◎遊漁船の船長は、釣り場に到着するとポジションをキープするための操船を行っています。他にも、ひしめき合う他の漁船に近づかないように気を付けたり、お客さんの安全のために航走波に船首を立てたりと常に周囲に気を配っています。

◎遊漁船や漁船の1~2マイル手前で汽笛信号の長音一声を発することで効果的な注意喚起となります。適切なタイミングで注意喚起を行うことで、大型船舶の接近をより確実に知らせることができます。



私のキャリア My Career

vol.21

オペレーション部 部長
梅木 弘之
(うめき ひろゆき)

思いがけない出会い

私の前職は船舶代理店です。

千葉港と木更津港で、外航船舶を主に扱う業務を約11年間担当していました。当然ですが、担当する船舶は外国籍が主で、英語で対応しなければならなかったのが苦労しました。

しかし英語や仕事がかかってきて、いろいろな国の乗組員や船長とコミュニケーションを取れる様になると仕事がだんだん楽しくなってきました。特に、船長からお昼ご飯に招待される事が楽しみでした。当時、扱いが多かったギリシャ船は曜日によって肉・魚の料理日が決まっている事や、フランス船のフルコースの料理などいろいろな国の食文化を体験しました。日本にて海外さながらの雰囲気を感じる事ができました。



▲ 担当したクルーザー

他にもいろいろ経験しましたが、私が一番印象に残っているのは、石原慎太郎さんとお会いできた事です。

それは日本のある会社が所有する、パナマ船籍の大型クルーザー船(G/T100以上)の代理店を担当した時のことでした。その船は普段パラオに係留していますが、東京湾に回航したいとの事で係留場所の紹介や手続き等の対応をしてほしいという依頼でした。今までそのようなクルーザーを扱った事がなく、まずは係留場所を探すことから始めました。運良く、船種を交通艇とすることで千葉県富津市の公共岸壁における係留許可を得て、パラオから回航する事ができました。

筆者と石原氏 ▼



そして着岸してから数ヶ月後、パラオへ戻るための出港手続きを依頼されました。その会社の方から、出港時のゲストの一人が石原慎太郎さんとお聞きしてびっくりしたのを覚えています。その際、ゲスト数名と一緒に乗って行くための手続きも依頼されました。出港当日は、その会社の社長さんと石原慎太郎さんの他、ゲスト数名が乗船されました。その後、関係官庁の手続きを無事済ませ、パラオへ向け出港できたことに安堵しました。

既に32年前の話ですが、そのような代理店時代に得た知識、経験が現在の業務にとっても役立っています。

My Good Job
マイグッジョブ
横浜の畑から



収穫された野菜 ▲

一級水先人 川部 勇
(かわべ ゆう)

《協力》一級水先人 村田 雅文
(むらた まさふみ)



収穫前の▲
トウモロコシ



▲トウモロコシ
食べ残し



トマト ▲

村田さん ▼



▲仕事帰りに
スイカを収穫



▼11月大根が
出来ました!



横浜市神奈川区にある貸し農園で野菜を育てています。きっかけは千葉当直中の夕食の一コマです。村田さんから「去年の末から畑をやっているんだけど、一緒にやらない？」とお誘いがあり、私は妻に承諾も取らずに二つ返事でやることにしました。まだ4歳だった息子があまり野菜を食べないと、親子ともに何か育ててみたいという興味があつたからです。村田さんの畑には、ほうれん草や大根、ジャガイモ、空心菜、ニンジン、キュウリなどが植えられていました。

はじめはクワの使い方もよくわからず四苦八苦していましたが、近くの区画の方や農園の方のアドバイスもあり、なんとか私の畑がスタートしました。私が最初に植えたのはほうれん草、ミニ大根、ニンジン、キュウリ、トマト、トウモロコシでしたが、5月に吹いた強風の影響でほうれん草とニンジン、キュウリはほとんどダメになってしまいました。農家の方々の大変さを思い知らされましたが、これに負けじと6月の初旬にスイカを植え始めました。キュウリは近くの農家の方に苗を恵んでいただき再チャレンジしました。

トウモロコシは順調に育ち、6月の下旬からヤングコーンを収穫しおいしく食べました。実が出来始めるとカラスが食べに来るようになったので、畑をカラスが嫌がる透明なテグスで防衛していました。7月初旬に収穫を迎える予定でしたが、まさに今日収穫しようとした朝にタヌキにほとんど全部食べられてしまいました。これまたよく聞く話ではありますが、大事に育ててきたトウモロコシが一瞬にしてダメになってしまったのはとても悲しかったです。わずかに残ったトウモロコシを持ち帰り茹でて食べてみると、これがうまいのなんの！食感はイクラのようにプチプチで味は非常に甘く、食べ比べのために買ったスーパーのトウモロコシの味が感じられないほどでした。「こりゃタヌキも夢中で食べたんだね」と家族3人で笑いながら食べたことは、一生忘れられない出来事になるでしょう。

一方で、別日の千葉当直の際に畑の話をしていると、まかないの大塚さんから万願寺唐辛子とサンチュの苗をプレゼントしていただきました。これは順調に育ち、今年の夏はたくさんの万願寺唐辛子を食べることができました。

意外なことに、去年は少雨の影響でスイカの出来は非常に良く、甘くておいしいスイカがたくさんとれました。この文章を書いている8月下旬には、畑でスイカをかじりながら冬野菜(白菜、大根など)に向けて土を耕しているところです。うまくできたら皆さんにも味わってほしいと思います。ANJINでも野菜の企画をスタートしましたのでご覧ください。また、家庭菜園の野菜をシェアするアプリ「Sharvest(シェアベスト)」を活用することで、ご近所同士で野菜の受け渡しもできるようです。畑はちょっと難しいけど新鮮な野菜に興味がある…という方はまずアプリに登録してみたいかがでしょうか。



川部編集長より

二級水先人 小林 剛文
(こばやし たかひろ)

みなさん、野菜食べていますか？年は〇〇代に突入り、健康診断の数値が急に悪くなったりしていませんか？健康のため野菜を食べたいけれど、外食が多くてなかなか難しい…という方もたくさんいると思います。ANJIN編集チームの小林水先人は、最近体重が20キロ以上増えてしまったそうです。そこで、料理経験がなく単身の方でも簡単に作れるカラダに良いレシピをご紹介します。小林水先人のシェイプアップを応援する企画を開始します！

企画第一弾は、冬が旬の大根を使ったレシピをご紹介します。今後も四季折々の野菜を使ったレシピを紹介していきます。小林水先人の変化にも注目です。

牛肉とひらひら★根の白だし煮

12月から2月に旬を迎える大根は、寒さから身を守るために糖分が増すのでみずみずしく甘みがあり、低カロリーで食物繊維が豊富。牛肉は免疫力を高めてコレステロールを減らす効果ももち、油揚げは高タンパク質で中性脂肪を分解してくれる大豆サポニンを多く含みます。今回は妻考案の、今の季節にぴったりの三つのダイエット食材を使った健康的な楽ちんレシピを紹介します。



《材料》

- 牛肉……………120g(もも肉でもバラでもこまぎれでもOK)
- 大根……………200g
- きざみ油揚げ…1/2袋
- 白だし……………大さじ3(使用したのはヤマキの割烹白だし)
- 水……………300ml
- ※お好みで柚子七味(使用したのは向井珍味堂のもの)



たった15分で
まるで料亭の味や〜

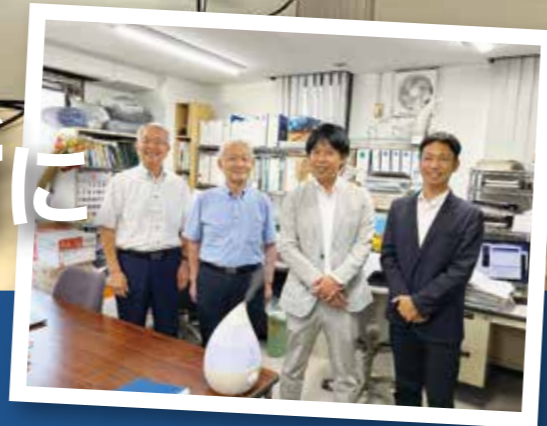
《作り方》

- ①大根はピーラーですべて薄切りにする。
- ②鍋にたっぷりのお湯を沸かし、牛肉をさっと茹で、色が変わったら取り出す。(灰汁取りのため)
- ③空いた鍋(2の鍋をすすげばOK)に水、白だし、薄切りにした大根、さっと水で洗い流した油揚げを入れ、蓋をして5分中火で煮込む。
- ④牛肉も加えてさらに5分弱火で煮込み、湯切りして盛り付け、お好みで柚子七味を振って出来上がり。



海洋総合研究所に行ってきました!

一級水先人 川部 勇 (かわべ ゆう) 二級水先人 杉山 幸生 (すぎやま ゆきお)



左から萩原先生、蓮沼先生 ▲

船を操船する者にとって、一番の関心事は気象・海象です。船の大小にかかわらず、風が強ければ操船は非常に困難なものとなるでしょう。波が高ければパイロットボートに降りられません。私たち水先人は気象予報とにらめっこをして、強風であればタグを増配するか、はたまた作業中止をアドバイスしようか…と日々悩んでいます。

東京湾水先区水先人会では、2022年7月より気象・海象情報の提供元として(株)海洋総合研究所と契約しています。今回は海洋総合研究所にお邪魔して、当会で使用している気象・海象予測についてお聞きしたいと思います。

1 海洋総合研究所とは

2000年に海洋物理学者の蓮沼啓一先生が設立。2019年に萩原秀樹先生が合流し、現在は5名で運営している。海流や海水温・塩分など、海洋物理学を駆使した調査研究を主に行っている。他にも気象と海流の状況に合わせて最適航路を計算するウェザルーティングや、マリナーや遠洋漁業に従事する漁船向けの視覚的にわかりやすい表示の気象・海象予報の提供など、幅広い分野で活躍されている。複数の予報士によって人的誤差が生じる恐れを避けるため、気象予報士による予報は行わず、データに基づいた一定の予報精度とコストセーブを実現している。

2 当会提供の気象・海象予報について

海洋総合研究所が提供する予報は、気象庁が提供しているCWM(沿岸波浪数値予報モデル)および気象庁が提供しているMSM(メソ数値予報モデル)を用いて運用されています。

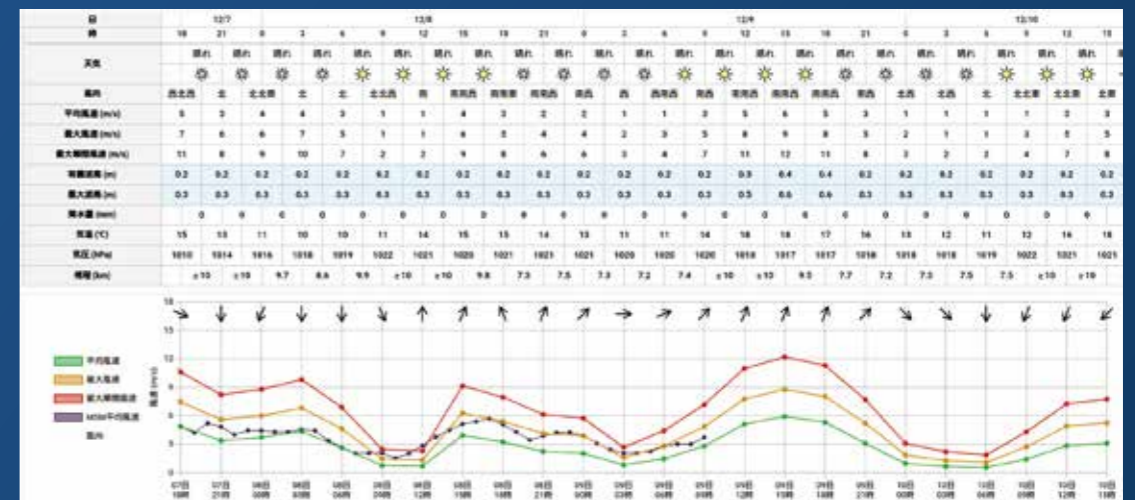
CWM(沿岸波浪数値予報モデル)とは

- ◎日本周辺の海上風の予測値を用いて、海上における波の発達・減衰やうねりの伝播などを予測する。高波時に発表される波浪警報・注意報や毎日の波浪予報、船舶向けの波浪図などに利用される。
- ◎当会で使用している気象・海象情報は、主にCWMによる予測結果であり、例えば風速値に関しては図中の緑色の線で描かれる「平均風速」がそれにあたります。最大風速と最大瞬間風速に関しては、過去のデータに基づく回帰式を使用して、平均風速に係数をかけたものを表示しています。予報は6時間ごとに行われ、日本時間01時07時13時19時頃に配信されています。

MSM(メソ数値予報モデル)とは

- ◎日本周辺を予報領域とした数値予報モデルで、数時間から一日先の大雨や暴風などの災害をもたらす現象を予測することを主な目的としている。短期予報、防災気象情報、航空気象情報、降水短時間予報等の作成に利用される。
- ◎気象・海象予測画面の、**MSM平均風速**をクリックするとグラフが現れます。1時間ごとのきめ細かい予測値を表示できる他、予報実施間隔も短く、CWMが6時間ごとの予報結果であることに対し、MSMは3時間ごとに予報を行っています。

図1: 気象・海象予測画面の例



Q 《取材担当者》ではどちらのモデルの予測値が正しいのですか?
 A 《海洋総合研究所》これはどちらを信用したらいいかという話ではなく、2つのモデルが持つ特性がそれぞれありますので、それをうまく使っただければと思います。例えば、急速に風が強まるような場合にはMSMの方がうまく表現でき

る場合があります。しかしMSMが正しいかという、そうでもないんですよ。どちらかと言えばCWMの方が安定している印象もあります。予報間隔の差もありますし、現況に照らし合わせ、2つの数値を見ていただきたいと思います。

コラム

風速が2m/s強くなったら?

東京湾水先区水先人会では、船長に手交するパイロットカードに次のような風圧力の推定式を記載しています。

風圧力は風速の二乗に比例して増加するため、強風下においては、わずかな風速の変化が操船に大きな影響を及ぼします。

仮に写真のような自動車運搬船(風圧面積約5,000平米)が真横から風を受ける場合、風速6m/sでは約14.4トンの風圧力が船体にかかりますが、風速が8m/sに強まると、推定される風圧力は約25.6トンとなり、およそ1.7倍の力がかかることになります。



自動車船の例 ▲

図2: 風圧力の推定式

$$F_{TW} = \frac{1}{2} \times C_{YW} \times \rho \times V^2 \times A_L \times \frac{1}{1000}$$

$$= \frac{0.08 \times V^2 \times A_L}{1000}$$

F_{TW} = Lateral wind force in tons.
 C_{YW} = Lateral wind force coefficient : 1.28
 ρ = Density of air : 0.125kg・sec²/m³
 V = Wind velocity in m/sec.
 A_L = Longitudinal Wind area in m²

※Longitudinal Wind Area (just for reference)

Container	PCC
GT 50,000t 5,000m ²	LOA 189.45m(4,950RT Dr.7.10m) ***5,035m ²
90,000t 10,000m ²	LOA 189.45m(5,400RT Dr.7.45m) ***5,475m ²
113,000t(LOA:337m) ***10,900m ²	LOA 199.98m(6,400RT Dr.7.50m) ***5,850m ²
145,000t(LOA:364m) ***13,600m ²	LOA 265.00m(Dr.8.40m)7,617m ²
210,700t(LOA:400m)17,500m ²	

3 用語の解説

- 【平均風速】 10分間平均風速を指す。
- 【最大風速】 平均風速の最大値を指す。
- 【最大瞬間風速】 風速計の測定値(0.25秒間隔)を3秒間平均した値(測定値12個の平均値)の最大値
※気象庁ホームページより

4 読者の皆さんに一言

難しいですね(笑)一言で言えばですね。非常に自信を持っています。気象庁からのデータを忠実に使い、いろんな見せ方をしています。天気図、台風の進路、スマートパイロットなど非常にたくさんのメニューがあります。また、水先人会からの要望をできるかぎり取り入れて作りました。提供開始前のほぼ半年間は実際に副会長に弊社に来ていただいたこともあり、打合せを重ねました。例えば、MSM予報値を1時間ごとに表示するようにしたのはいただいたご要望の一つです。ですから言ってみれば、パイロットの皆さんのノウハウが詰め込まれたものができているかなという気もします。

食いしん坊の ハマ飯

vol.2

オペレーション部 沼口 弘三
(ぬまぐち こうさう)

趣味はサウナと美味しい店探し、オペレーション部の沼口です。

前回(ANJIN vol.11_2018年夏号)に引き続きおすすめのお店を紹介させていただきます。あくまでも主観に基づいた評価なので、是非皆様ご自身の判断で楽しんで頂ければ嬉しいです。

波止場会館 「シーサイドラウンジ SaLa」

こちらは以前、とある水先人の方に教えて頂き度々通うようになりました。早い安い美味しいの三拍子が揃った仕事めしに最適なお店。平日の昼のみ営業、相席必須の知る人ぞ知る人気店です。

大さん橋手前の信号交差点すぐ近くの波止場会館に入り1階のすぐ右手にお店があります。店内は社員食堂の様な安心感のある雰囲気。中に入るとお母さん達がテキパキと各々の仕事をこなしており、空いている席に案内され着席。お冷を受け取り壁に貼ってある幾つかのメニューの中から、今回は煮込みハンバーグを注文。程なくホットコーヒーが提供されます。初見では驚くと思いますが、こちらでは無料でコーヒーおかわり自由という嬉しいサービスがあるので！コーヒーを飲みながら少し待つと煮込みハンバーグが到着。小振りですがしっかり肉感があり、焼き色を残しつつも柔らかく煮込まれた肉汁多めのハンバーグがテミグラスソースを纏って2つ、ワンプレートにご飯とサラダが盛り付けてあります。そして具沢山の味噌汁と小皿にお惣菜が一品。デザートに一口チョコが



▲ 煮込みハンバーグ



▲ 豚の生姜焼き



お母さんからの心配りとして添えてあります。

生姜焼きが気になっていたため後日再訪し注文。手作りの生姜タレで甘さと辛さがバランス良く、シャキシャキとした食感がある玉ねぎと豚肉がタレに絡みご飯が進むメニューでした。

どれも食べる人の健康を考えてか塩分控えめで出汁を効かせた優しい味付け、しかもコーヒーお代わりが付き千円で充分なお釣りがくるという財布にも優しい値段設定。安心して通える隠れた名店です。是非足を運んでみてください。



▲ 横浜珈琲店「五番街」外観



▲ ビーフカレー

横浜珈琲店「五番街」

横浜駅ではしばしばコーヒー難民になります。休日ともなると駅近くの有名なコーヒーチェーン店は軒並み行列、そんな時に比較的穴場の老舗喫茶店をおすすめします。ここはコーヒーがとにかく美味しいのですが、モーニングや軽食・デザートも充実していて朝から夜まで使い勝手がよく重宝すること間違い無しです。お店の雰囲気は昭和の純喫茶という佇まい、店内外ともに古いのですが清潔感がありとても落ち着く雰囲気です。

いつものアイスコーヒーに追加で今回はビーフカレーを注文。アイスコーヒーはしっかり苦みと酸味とコクがある濃いめのタイプ、好みがあると思いますが私は好きな味です。ビーフカレーは、薄切りの牛肉が入ったスパイス感強め辛さ強めのルーに多めのライス。付け合わせに酸味控えめの自家製と思われるピクルスが彩りと爽やかな食感を加えています。他にもメニュー豊富で毎回目移りします。

コーヒーが好きな方には特にお勧めです。但し全席終日喫煙可能な為、タイミングによってはかなり煙たいと思います。今回は親切な店員さんに比較的煙が来ない席を案内して頂いたため助かりました。

Topics 浦賀ドック一般公開

浦賀ドックは横須賀市浦賀地区にあり、世界に4か所しか現存していないレンガ積みドライドックの一つです。2003年に閉鎖され、長年使用されていませんでしたが、2021年に住友重機械工業から横須賀市に寄付され、現在はイベントなどの一般開放日に公開されています。2023年秋、ペリー来航170周年を迎える横須賀市が「浦賀ドックが幕末になる！」をテーマに一般公開を行っていただきましたので紹介いたします。200万個以上のレンガを使用したドックはおしゃれで趣があり、文化遺産としての魅力が満載です。今後の一般公開の予定をチェックして訪れてみてはいかがでしょうか！

レンガ積みのドック



浦賀レンガドック



浦賀ドックが幕末に



人事短信

水先人・元水先人

【受賞】 令和5年11月3日、秋の褒章に際し、次の方が栄えある受章の栄に浴されました。おめでとうございます。

黄綬褒章



一級水先人
堀家 勝
(ほりけ まさる)

【黄綬褒章】 業務に精励し他の人の模範となる方に授与される褒章

【退会】



元一級水先人
勝見 平八郎
(かつみ へいはちろう)
平成21年4月入会
令和5年10月25日退会



元一級水先人
塩月 國廣
(しおつき くにひろ)
平成20年4月入会
令和5年10月31日退会



元一級水先人
迫田 昌典
(さこだ まさのり)
平成22年4月入会
令和5年10月31日退会



元一級水先人
江村 正
(えむら ただし)
平成17年1月入会
令和5年11月28日退会

職員人事

【退職】



元 業務部業務支援グループ
係長
藤平 理津子
(ふじひら りつこ)
昭和52年4月1日採用
令和5年11月17日退職

長い間、
お疲れさま
でした。

長い間、
安全運航
お疲れさま
でした。

